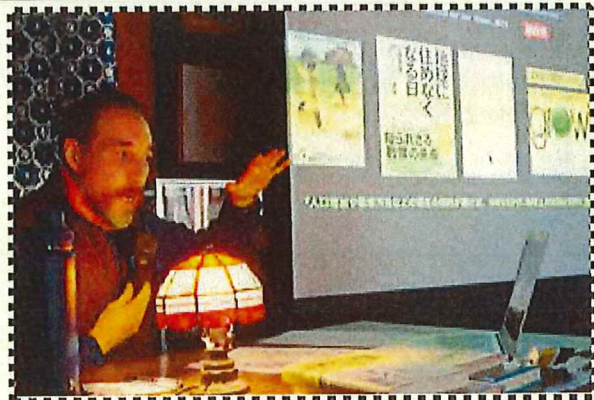


評価日 令和3年3月31日

団体名	もちづきツキ・ヒト満ちるプロジェクト		
事業名	望月アース・スキル・アクション (Mochizuki Earth Skills Actions)		
対象経費	59,910 円	支援金交付対象経費	59,910 円
支援金額	29,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的 「望月アース・スキル・アクション (Mochizuki Earth Skills Actions)」は、気候変動とその危機を地域で考え、これからの世の中で「生きる力=アース・スキル (造語)」を磨いていくことを目的とする活動です。 まずは、今世界で何が起きているかを、できるだけ多くの人に「知ってもらう」ことが重要であり、講習会の定期的な開催を計画しています。一人でも多くの人に「気付き」が得られる機会を作ることで、また、講習会やワークショップを通して、「地域で取り組む」きっかけを作ることを見込み目標とします。</p>
	<p>内容 ・講習会「気候変動と私たちの暮らし」の定期的な開催。 ・地元の講師を招いて竹かご制作ワークショップ ・地元の講師を招いて農業、エネルギー、手仕事についての3回の講習会。 ・気候変動問題を解説するパンフレットの制作、配布 ・Webサイト運営にて情報提供 ・講習会などの参加者のその後の考え方の変化などを追跡するアンケートの実施や、講習会の内容をまとめた冊子の発行</p>

事業の活動実績	<p>①事業内容の大幅な変更について ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ワークショップや講習会を中止。 ・自己資金不足が懸念されたため、Webサイトを自己作成し、パンフレットの制作を委託する業者を改めて検討し、経費の削減を行いました。</p> <p>②活動実績 ・今年度の達成目標に掲げた「地域で気候危機・環境問題に取り組むきっかけ作りをする」ためにイベントを企画開催・講演活動やパンフレット作りを行いました。 また日々アップデートされていく気候変動の世界最新情報を学ぶために、定期的にメンバー内のMTGを行ってきました。作成したパンフレットは、望月支所・望月図書館や気候変動問題に対する活動にご賛同いただいた佐久市内の店舗に設置しました。</p>
	<p>8/7.28 MTG 9/8.17.18.26 MTG 10/1 MTG 10/4 イベント「アーススキルリトリート」20名参加 10/10 イベント反省会・アンケート集計 10/27 MTG 11/24 講演会(主催:多津衛民芸館)40名参加 ※検温・手指消毒などコロナ対策を実施 12/2 MTG 1/15 MTG・パンフレット打ち合わせ(ZOOMにて) 1/25 MTG・パンフレット打ち合わせ 2/24 MTG・パンフレット打ち合わせ 3/25 MTG・パンフレット完成、配布</p>



別記様式第5号 (6の2関係) [2枚目]

事業の成果・効果	<p>・講演会に参加し、気候変動の現状について知った望月地域の方々とのコミュニティーができました。そこからお米の自給自足を目指しコミュニティーで田んぼ作りを始めようという次の事業も生まれつつあります。</p> <p>・また、他地域（上田・立科・佐久穂）の方々より、各地での講演依頼があったことから、興味を持つ人が増えたこと、また自身の地域でも情報を共有して問題に取り組んでいきたいという方がおり、今後他地域と協力していく活動を広げていく活路を見出すこともできました。</p> <p>講演会後のアンケートによると、「ワールドワイドな情報収集からアウトプット、自分のまわりの人に一人でも多く共有、伝えられるよう一緒に動けるようにしたい。自分の暮らしも今一度見直したいと思います。」「気候変動に関する知識は20年前でとまっていたので、ここまで悪化していることに驚き落ち込んだ。分かり易く解説してくれたロジャーさんに感謝」「私の知らないデータがこの一年間こんなに多いことを知り、勉強不足を痛感した。グレタさんの『知ること、学ぶこと』を改めて戻らないといけないと思う。原点に気付いたことをありがたく思う」など参加者から満足したという声をいただいた。多くの人に「気付き」が得られる機会を作れたと感じました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>佐久地域のコロナ感染状況が悪化した時期もあり、当初の予定を縮小せざるをえない年でした。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>自己評価を記入</p> <p>望月地域の方々に気候変動危機について「考えて取り組むきっかけ作り」を目的としていたが、ワークショップや講習会が開催できず、なかなか十分に私たちの取り組みを広げることが困難でした。今年度は素晴らしいパンフレットができたので、今後の活動発展に利用していきます。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>コロナ感染状況の悪化やワークショップ講師の方との日程が合わなかったため</p>
	その他、評価すべき点等	<p>イベント開催ができない分、メンバーでの学びを深めることができました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>世界最新の情報の発信や講習会開催、農業、手仕事、エネルギー問題、リサイクルなど、地域の先輩方から学んだ知恵を発信していきます。また来年度からコミュニティー田んぼ作りを始めます。望月地域の先輩方からご指導いただき、お米の自給自足を目指して実践していきたいと考えています。</p>
---------	---